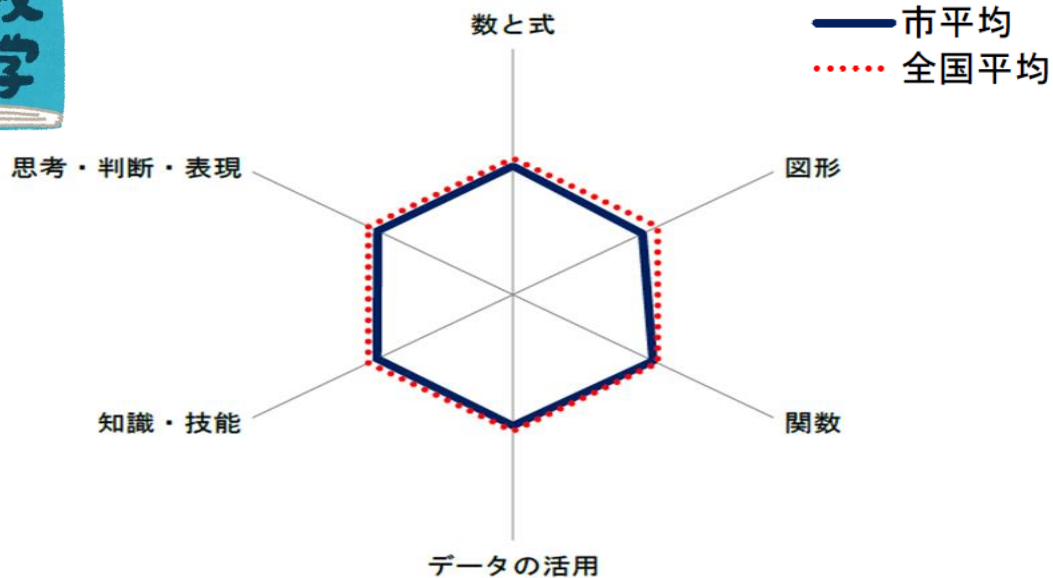




新居浜の中学生は、全体として「全国平均よりやや低い」調査結果でした。



よくできていた
数学問題

「数と式」領域で「必ず起こる事柄の確率について記述する」問題がよくできていました。

「A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの、何を読み取ればC駅とD駅の間の走行距離がわかるかを選択する」問題がよくできていました。

結果を受けてこれから
取り組んでいきたいこと

「 $3n$ と $(3n+3)$ の和を『 $2(3n+1)+1$ 』と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であるかを数学的な表現を用いて説明する」問題の正答率が低かったです。「 n に値を入れて結果を見せるなど、具体例を使う」ことや、「数直線などで視覚的に理解させる」こと、「3倍して、1足す数」など言葉で言い換える練習をすること、などを日々の授業で指導していきます。

「図形」領域で、「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する」問題の正答率が低かったです。事柄が成り立つことを証明できるようにするためには、仮定や仮定から分かる事柄、結論を導くために必要な事柄を明らかにするなどして証明の方針を立て、その方針を基に推論の過程を数学的に表現できるように指導することが必要です。

